

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 5 日

事務事業名		市子ども会育成連合会運営助成事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020303000648
総合計画の施策名		0203 青少年の健全育成				単独/補助	補助	所属課	090601 生涯学習課
政策体系	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	
	施策名	03 青少年の健全育成						グループ	生涯学習G
	手段名	03 ③地域教育力の充実						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計			
	01	10	05	05	01 00	青少年対策事業			
法令根拠	市子ども会育成連合会運営補助金交付要項					単年度繰返し (平成17年度～)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市内単位子ども会 (96単位子ども会) 及び育成会並びに指導者の活動を調整・援助し、子ども会の発展と次世代を担う青少年の健全な育成を図るために実施する。 市子ども会育成連合会の主要事業の開催に関する準備及び事業実施の補助を行う。 【主要事業】 ○総会・役員会・事業部会 ○防災宿泊体験・桜っ子探検隊・桜っ子の心を育てる事業・桜っ子リーダー研修会 ○指導者講習 ○全国子ども会安全共済会加入とりまとめ ○県西地区子ども会育成連絡協議会参画事業/(一社)茨城県子ども会参画事業	○補助金の支出事務 5月・3月 ○安全共済会加入受付及び申し込み事務 4月～5月 ○総会 4月開催 (◎教育長、課長、担当) ○各事業に関する事務及び事業開催補助 ①事業部会 ②役員会 ③募集案内 ④関係機関との打合せ ⑤参加者とりまとめ ⑥事前準備 ⑦当日の運営補助 ○各種研修・会議実施に係る事務及び運営補助

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市子ども会育成連合会の運営補助を行う。	事業開催回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
子ども会会員 育成者・指導者	子ども会会員数 (会費納入者数)	人	1,429.00	1,297.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
	子ども会育成者・指導者数 (安全共済会加入者数)	人	2,782.00	2,529.00	2,900.00	2,900.00	2,900.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
青少年の健全育成を図る。	市子連事業参加総数	人	159.00	171.00	200.00	200.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		期間限定 総投入量
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	591	591	644		
		事業費計 (A)	千円	591	591	644		
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	08 旅費	16		08 旅費	69	
	18 負担金補助及び交付金	575		18 負担金補助及び交付金	575	
	合計		591	合計		644

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	総会・役員会・事業部会 桜っ子リーダー研修会 桜っ子の心を育てる事業 桜っ子リーダー研修会 指導者講習	総会・役員会・事業部会 桜っ子リーダー研修会 桜っ子の心を育てる事業 桜っ子リーダー研修会 指導者講習	総会・役員会・事業部会 桜っ子リーダー研修会 桜っ子の心を育てる事業 桜っ子リーダー研修会 指導者講習

事務事業名	市子ども育成連合会運営助成事業	事務事業No.	20303000648	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 子ども会の発展と次世代を担う青少年の健全育成を図るために実施。昭和30年代に始まったと思われる。 開始時とは明らかに少子化によって会員数が減少しており、負担の大きさから、事業の実施には欠くことのできない保護者の協力が得にくくなっている。また、他の青少年団体やスポーツ少年団など、子どもを対象とした事業・活動も行われており、子どもを対象とした事業はある意味飽和状態になっていると思われる。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 子どもの数が少なくなっており、単位子ども会の活動がなかなかできない状況となっていることから、単位子ども会の統合について連合会として進めてほしいという要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 施策体系 青少年活動の充実につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内の児童生徒を対象としているため、公共関与は妥当であると考えられる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 団体主導の事業運営の実施が期待されるが、保護者目線の意見が反映され、団体主導のより良い事業運営ができつつある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 学校や家庭とは異なる関わりの中から自主性や協調性などを身につけ、成長できる貴重な場を消失することとなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 青少年育成桜川市民会議運営助成事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 同じく児童生徒を対象とした団体との連携を促進することで、更なる成果の向上が期待される。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 団体主導による事業運営ができつつあり、担当者の業務時間の削減につながっている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域の児童生徒を対象としているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	事業部会制を取り入れることで、役員会の回数を減らすとともに、保護者目線の意見が反映され、団体主導のよりよい事業運営ができつつある。また、市内高校生や各種団体との連携で、幅広い活動が展開できたことに加え、子どもたちの社会性の向上にもつながった。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 青少年育成関係団体との連携を促し、青少年の健全育成に向けて、さらなる成果の向上を図っていく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						×					×
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
				×																						
				×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	②																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認